



今年十月十六日オープン
九州国立博物館
三〇〇インチスーパーハイビジョン映像で
『沖ノ島』を紹介

いよいよ十月十六日、東京・京都・奈良に続く四番目の国立博物館として、福岡県太宰府市に『九州国立博物館』（以下「九博」）が開館する。この九博で、当大社「沖ノ島」を映像で紹介することとなり、去る五月十九日〜二十四日までの六日間島内で撮影が行われた。

当大社「沖ノ島」は「神道」という信仰上でも、「日本人」という民族上でも重要な島であり、大陸と古代日本列島との交流、豊かな自然といった学術上でも欠かすことの出来ない存在であるが、一般の方が島に渡れるのは年に一日、さらに女人禁制という古来からの掟もあり、気軽に行ける島ではない。そこで、九博は沖ノ島に行かなくても、島を感じていただくようと臨場感溢れる映像で紹介することを企画、NHKエンタープライズが制作することとなった。

実際の映像は三〇〇インチ以上の大画面でありながら、現在地上デジタル放送やBSデジタル放送よりも高精度な「スーパーハイビジョン」をもちいることとなり、撮影はかなり大規模なものとなった。大型のステールカメラを使用し、ポジフ



8月祭事暦

- 毎月1・15日 ^{つきなみ}月次祭
 - 午前10時 高宮祭 第二宮・第三宮祭
 - 引き継ぎ 宗像護国神社 月命日祭(1日) 遙拝 (15日)
 - 午前11時〜 総社祭 浦安舞 奉奏(1日) 豊栄舞 奉奏(15日)
- 7日 午後7時〜 中津宮七夕祭 於=筑前大島 中津宮
- 15日 午後7時〜 宗像護国神社 千灯明 於=宗像護国神社



これ1枚で、便利・安心。

誕生!

出光カード **まいどプラス**

ご入金は、最寄りの出光サービスステーションへどうぞ。

出光クレジット株式会社/出光興産株式会社
[出光カード会員サービスデスク] 03-5996-1236
(9:00~18:00 年中無休/元日除く)

ホームページ www.idemitsu.co.jp

暑中御見舞申し上げます



この写真は、杉の大木に照明を当てています。



この夕日を撮る為に、三日間は粘っていました。

イルムからデジタル化、さらに音声をつけるといこの技術は、まだ「愛・地球博」でしか発表されていない。

その撮影であるが、沖津宮現地大祭前の五月十九日から開始され、六日間の、初日と最終日の前後二日は、カメラ三台三脚二本、脚立五本に、テント、発電機二台などの撮影機材を、島の中腹に鎮座する沖津宮まで上げる、下げるといった作業に費やされ、撮影は正味四日間であった。

撮影スタッフと、九博学芸員の約十数名は、毎朝宗像市の神湊港から宝栄丸（佐藤守船長）で渡島し、禊の後、沖津宮を参拝し、祭祀遺跡を中心に、御社殿・波・水平線・夕日などを撮影した。

しかし、フィルムサイズが縦二〇センチ、横二五センチという巨大サイズであり、一日約四カットというペースでの撮影が限度。その為撮った写真の出来具合を確認する必要があり、毎日昼過ぎにはスタッフ神湊までもどり、福岡市まで現像

に出すという、沖ノ島く神湊間を一日二〜三往復するという手の込んだ撮影となつた。幸い連日晴天、海上は凧と恵まれ、予定期間内で全ての撮影を無事に終え、最終日にはスタッフからも満足のいく絵が撮れたと大変満足そうであった。

七月二十三・二十四の両日には、沖ノ島から出土した祭祀神宝の撮影も神宝館で行われ、これら映像は東京で九月下旬までに制作され、十月十六日の九博オープンに間に合わせるとのこと。

九博の常設展示「文化交流展示『海の道、アジアの路』」では、沖ノ島神宝が対外交渉を物語る象徴として出陳され、さらに専用の映像室でも沖ノ島の臨場感あふれる映像が楽しめそう。

「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える博物館」というコンセプトのもと、開館準備が進められている九博、アジア諸国との文化交流を進める拠点としての役割が期待されている。

IDEX

三つのソリューションで、あなたのもっと身近へ。



株式会社 新出光

〒812-0036 福岡市博多区上呉服町1番10号

TEL(092)291-4134

暑中御見舞申し上げます

第一回オガチの会 役員会開催

今春結成された当大社氏子青年会「宗
像オガチの会」(吉武邦彦会長)の役
員会が、六月二十七日午後五時半より、
役員八名出席のもと開催された。

主な議題となったのは、秋季大祭最終
日となる十月三日夕刻に斎行される終了
奉告祭(名称未定)についてであり、高
宮斎場で行うことが決定。さらに、オガ
チの会会員の方々にどのように御奉仕い
ただくかが話合われた。
会議中、会員の方々にも着けていただ

く装束を、当大社の神職が実際に着装する
と、役員の方々も奉仕状況が想像できたの
か、時間をおしての熱心な議論となった。
さらに発足当初から要望のあった「神
道勉強会」についても話合われ、隔月程
度で、神道及び宗像地域の歴史等について
の勉強会を開催するなど、オガチの会の活
動方針が決定した。
尚、次回の役員会では第一回目の勉強会
も併せて行う予定となっている。



沖ノ島から見る朝日

今も多くの土器類が眠っています



撮影最終日の集合写真



**スクラムを
組ませて
ください。**

エネルギーに関する
ベスト・パートナーを目指します。

お客さまの声に、誠心誠意、耳を傾けること。
エネルギーに関する様々なご要望をワンストップで受け
止め、グループの総合力を駆使して対応させていただく
こと。それが九州電力のエネルギー・ソリューション。
私たちは、お客さまとガッチリとスクラムを組み、エネ
ルギーという幅広いフィールドの中で、エネルギーの
効率的利用やお客さま設備に関するアドバイスなどに
柔軟に対応できるベスト・パートナーを目指します。



<http://www.kyuden.co.jp/solution/index.html>

暑中御見舞申し上げます

ダイドードリンコ提供・RKB毎日放送制作

『日本のまつり・みあれ祭』撮影進む

十月二十三日 午後二時放映

六月十八日、早稲田大学教授の吉村治先生が来社され、地元RKB毎日放送が制作するテレビ番組の撮影が行われました。

既報の通り、清涼飲料メーカー「ダイドードリンコ」は、ウェブサイト「日本のまつりドットコム」を通じ、日本の著名な祭りを応援しています。



そのダイドードリンコ提供で、今年度TBS系列の各局が各地域の「まつり」の番組を制作し各地域ごとに放映、その中の優秀作を次年度には全国ネットでの「まつり」の番組を再び制作し放映する企画があり、RKB毎日放送は「みあれ祭」で番組制作エントリーすることになりました。

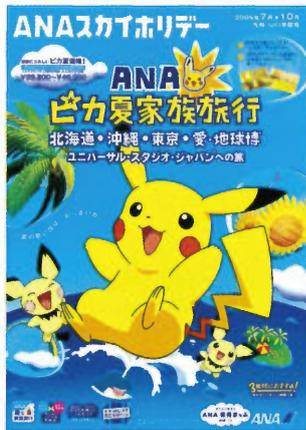
この「日本のまつり みあれ祭」は、吉村先生が案内人として五月の沖津宮現地大祭から撮影が始められ、筑前玄海魚まつりのCM撮りと続けられてきましたが、去る六月十八日、先生が再来社され、辺津宮境内で撮影が行われました。

辺津宮本殿から、高宮、神宝館で、吉村先生と当大社堤禰宜が歓談しながら進められ、天候に恵まれたこともあり順調に進みました。

撮影は「みあれ祭」まで続きます。オンエアはRKB毎日放送で、十月二十三日午後二時から一時間番組で放映されます。ご期待下さい。



撮影の合間にほっと一息の吉村先生



ANAピカ夏家族旅行 全9コース



2005年7月～10月 愛・地球博のみ 9月25日まで

29,800円～47,300円

(例えば)福岡発大阪/基本ホテル2日コース スタジオバスご利用の場合(大人おひとり様)

大好評 ポケモンキャラクターいっぱいの「ANAポケモンルーム」!

オリジナルスリッパ&ポストカードプレゼント

NEW 家族で楽しめる体験メニュー「ピカ夏オプショナルプラン」登場!

オリジナルフォト&フレームプレゼント

3世代に おすすめ! お孫様へのお土産として「お楽しみ福袋」をプレゼント!

ツアーの詳細は専用パンフレットをご覧ください。

旅行企画・実施 ANAセールス株式会社 国土交通大臣登録旅行業第1656号 (社)日本旅行業協会正会員

〒105-7134 東京都港区東新橋1丁目5番2号 汐留シティセンター

ご予約・お問い合わせは、ANA指定旅行会社またはANAスカイホリデー予約案内センターへ

☎(092)720-8607

www.atour.co.jp

暑中御見舞申し上げます

第二十九回宗像大社小倉百人一首かるた大会
過去最多二二八名が参加



○名が参加し、D級、初心者級、シニア級で試合が行われた。各級ともに静寂の中息詰まる熱戦が夕刻まで繰り広げられた。

十九日は、A・B・C級（有段者）の試合が行われ、九州は勿論遠く関西・関東からも実力者が集い、二二八名が参加する中、高いレベルの試合が繰り広げられた。特に高段者が参加するA級は実力が伯仲し、激しい攻防戦が展開された。

本年は両日を合わせ二二八名という過去最多の参加者となり、盛会裏の内に大会は終了した。表彰式が終わると、一同互いの健闘を称え合い、再会を誓い大社を後にした。

各級の成績は左記の通り。

A級（四十七名）

- 優勝 楠木 早紀（大分県かるた協会）
- 準優勝 中島 実穂子（九州かるた協会）
- 三位 大山 寿久（広島県かるた協会）
- 三位 坪倉 岳志（東京大学かるた協会）

B級（四十名）

- 優勝 檜谷 舞（島根県かるた協会）
- 準優勝 高倉 康佑（大分県かるた協会）
- 三位 中島 由佳（鹿児島県かるた協会）
- 三位 榮 琴美（熊本県かるた協会）

六月十二日・十九日の両日、第二十九回宗像大社小倉百人一首かるた大会（主催：宗像大社、社団法人全日本かるた協会、主管：九州かるた協会、後援：宗像市教育委員会）が、当社清明殿・斎館にて開催された。十二日の開会式では、全日本かるた協会々長・山下義氏も来社され開式の挨拶を述べられた。
十二日は、小・中・高校生を中心に一〇

C級（四十二名）

- 優勝 松山 さゆり（九州かるた協会）
- 準優勝 盛 実津希（九州かるた協会）

D級（四十四名）

- 優勝 松岡 里紗（筑紫女学園高校・福岡県）
- 準優勝 橋上 香織（鹿本高校・熊本県）

初心者の部（四十二名）

中学生以上（二十四名）

- 優勝 田中 友理菜（福岡中央高校・福岡県）
- 準優勝 久池井 明（筑紫丘高校・福岡県）

小学生（十八名）

- 優勝 寺地 茜音（宇美かるた会・福岡県）
- 準優勝 波多野 悠美（宇美かるた会・福岡県）
- シニア級（十四名）

- 優勝 細川 玲子（北九州大蔵かるた会・福岡県）
- 準優勝 安廣 彰子（新田原かるた会・福岡県）



青空に浮かんだ白い雲、
真っ白なリゾートシップ

博多湾レストランシップ
MARIERA
マリエラ

ランチ 12:00～
3,000円～

トワイライト 17:00～
5,000円～
4月～11月の金・土・日・祝
※但し夏休み期間は毎日

ディナー 19:00～
5,000円～

●お問い合わせ 西鉄マリエラ予約センター
TEL (092) 751-7171

●インターネット予約
<http://www.nishitetsu.co.jp/mariera/>

※料金には乗船料、料理、サービス料、税が含まれています。

暑中御見舞申し上げます

宗像市海開き

神郡宗像に夏の行楽シーズンを告げる『海開き』神事が、七月五日(火)午前十時から、宗像観光協会(吉武邦彦会長)主催で行われた。

生憎の曇り空の下、神職三名が宗像市神湊海岸に向向。砂浜に祭壇を組み、海川山野の神饌をお供えし準備が整うと、玄海ホテル旅館組合、神湊飲食店組合、水難救済所ら、海に携わる各関係者が参列し、敬虔な祈りを捧げた。

神湊海岸での神事が終了すると神職が二手に分かれ、深浜海岸、鐘崎漁港(鐘崎)、

五月松原、江口浜(江口)、勝浦海岸(神湊)など、市内の各海水浴場へ向かい清祓を行った。

祭典後は、市内の神湊の老舗旅館『魚屋』で直会が催され、宗像の観光事業の将来についてなどの話題に花が咲いた。

宗像の海は海水の透明度が高く、国定公園の指定を受ける程の砂浜、そして『釣りアジちゃん』『玄海とらふく』『玄海活イカ』などブランド魚に代表される海の幸を有し、県内でも人気の海水浴場である。吉武会長は「観光客の皆様には、海では無

理をせずルールを守り、皆が楽しく海の恵を享受していただければ」と話されていた。



特別展『亜細亜の夜明け』閉幕 延べ約三二〇〇人が来館



的原神社への絵馬返却

東郷神社への探照灯返却

日本海海戦一〇〇周年を記念し、神宝館で開催されてきた特別展『亜細亜の夜明け』が、六月二十八日閉幕しました。

四月二十九日の開幕以来、週末を中心に沢山の方が来館され、日本海海戦から一〇〇年、

日露戦争終結から一〇〇年という節目の年を、意義深く迎えることが出来ました。賛否両論有り、外交問題にまで発展した『靖国問題』とも重なり、改めて国と国とが命運をかけて戦う戦争を見詰め直し、先人たちの国に対する想いを感じていただいたのではないのでしょうか。

その翌日からは、搬出作業が行われ、借用した展示品が各地へ返却された。

当大社特別展開催にあたり、ご協力いただきました(財)三笠保存会、東郷神社、的原神社、他篤信者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

KYUSHUSHINKANSEN TSUBAME 800

つばめ、それ!!

博多-鹿児島中央、最速2時間11分。

熊本-鹿児島中央、最速57分。

30分おきに快走中。



インターネットでのきっぷのお申し込みはこちらへ

©JR九州インターネット列車予約

パソコン <http://www.jrkyushu.co.jp> 携帯電話 <http://www.jrkyushu.co.jp/mobile/>

暑中御見舞申し上げます

(続)

浜の寄物

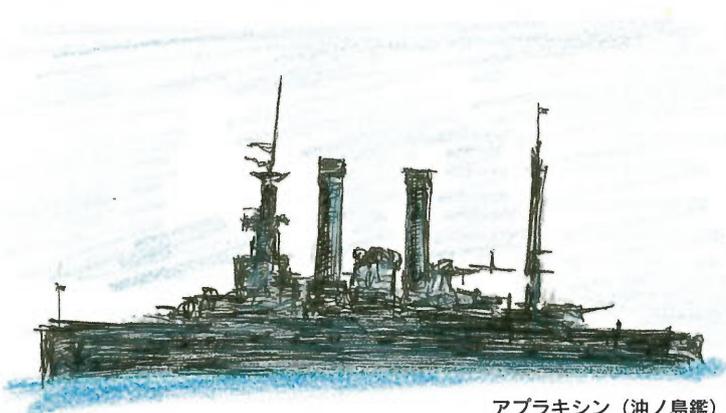
195

いしい ただし



一九〇五年五月二十七日早朝「敵艦見ゆ」の一報が入り、沖ノ島沖西方で一三時三九分、航行するバルチック艦隊を発見、三笠の艦橋に乙旗が掲揚された。

二十八日夕刻までに、バルチック艦隊は潰滅・撃沈、戦艦六、巡洋五、海防一、駆逐四、特務三、捕獲一、戦艦二、海防二、駆逐一、病院船二、脱走中喪失 巡洋一、駆逐一、計二八隻。ロジェストウエンスキー司令長官以下六千六百六十八名が捕虜とな



アブラキシ (沖ノ島艦)

り、四千五百二十四名が戦死した。日本側は一六六名戦死、負傷五七〇余名、喪失艦艇は水雷艇三隻であった。

伊藤正徳は『大海軍を思う』の中で「まことに世界海戦において、一回の海戦にこのような全滅的完勝を挙げるのは、空前にして遂に絶後である。トラファガルの戦勝もこれに及ばない」と書いている。

少し戻るが二十七日にバルチック艦隊の第一、第二戦艦隊が潰滅的打撃を受けたが、第三戦艦隊はウラジオストックにむけて逃走中、二十八日には東郷艦隊(連合艦隊)二六隻に囲まれて降伏した。第三戦艦隊の旗艦にニコライ一世(九六七二ト)アリヨール、装甲海防艦アドミラル・アブラキシ、セニャーウイン等であった。降伏後艦は日章旗がひるがえっている。

これら捕獲されたロシア艦は、佐世保などに曳船され、戦利品として日本船籍となり、日本艦名をつけられ使用されたり展示している。一九〇五年八月五日号のアメリカの週刊イラスト新聞のグラフィックは佐世保に曳船されてきたロシア艦が描かれている。

戦艦ニコライ一世は彦岐、オリヨールは石見、アドミラル・アブラキシは沖ノ島、セニャーウインは見島等の艦名をもらった。

他に戦艦ペレスウエートは相模、レトヴサンは肥前、ポベータは周防等巡洋艦や水雷母艦なども日本艦名をつけて使用されている。

この第三戦艦隊のアドミラル・アブラキシは装甲防護艦(海防艦)で一八九六年ロシアセントペテルスブルクで建艦、排水量四二六トン、速力一六ノット。大砲一〇インチ三、一二〇ミリ四、小口径砲二四、水雷発射管四を備えたものであった。一七名の死傷者を出している。

沖ノ島艦と改名、第一次大戦では青島戦に参加している。その後佐世保に繋留されていたのを、昭和になって津屋崎町の要望で、海軍から払い下げられ、佐世保から回航し、津屋崎港口に繋留されていた。

六〇代以上ぐらゐの年令の人達は沖ノ島をみているし記憶もある。写真も残っている。戦争が厳しくなり、鉄不足と共に解体されて、艦はなくなりました。



アメリカの週間イラスト新聞「グラフィック」の佐世保に曳航されたロシア艦隊

沖ノ島をめぐる歴史と自然の壮大なドラマ
絵本「はるかな島のものがたり」が
第49回 西日本読書感想画コンクールの
指定図書(小学校3・4年生)に選ばれました。
3・4年生の皆さん、ふるってご応募ください。

- 作品の提出は、在籍校を通じて九州・山口各県図書館協議会へ11月10日(木)までに送付または持参。
- お問い合わせは上記又は西日本新聞社企画推進部(092-711-5491)
- 本のお求めは書店又は宗像大社神宝館で発売中。

はるかな島のものがたり
 企画・装丁 株式会社ジーエータップ
 印刷 株式会社ゼネラルアサヒ



暑中御見舞申し上げます

第五二八回

宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日メ切



わが部屋に沖繩土産のさそりがい 蠟貝白き不気味な節足のぼす
〔評〕 私には姿形は想像出来ないが、節足を持つ貝はさそ不気味だろう。さそり貝の語で持てた一首。

福岡市 南区 井田 有久衣

亡き夫の戦友名簿に残されし妻恋う友の短歌に涙す
〔評〕 「涙すまで言わないで、二句以下「残り」を妻恋う友の短歌が一首で止めたい。

宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子

捨てよとて子は言うなれど箱一つ捨て得ず仕舞う戦中派われは
〔評〕 判る判る、そうそうと大方の人は言うだろう。そこがいい処であり凡である処。

宗像市 日の里 石松 弘次

去年よりも十日遅れの木樨かな早魃ゆえかひそか咲き初む
〔評〕 「かな」は短歌の表現にはふさわしい。「去年よりは十日遅れに咲く木樨早魃ゆえかと吾はかなしむ」でいいのでは。

宗像市 田野 森 甲子

谷川の流に咲ける花菖蒲つづく日照りも色麗しき
〔評〕 四句は「日照りつづくも」とすべき。

宗像市 鐘崎 安永 久子

人の手に編みたるがごと朝顔の杖に日毎登りゆきたり
〔評〕 「朝顔の杖」の表現が判りづらい。「人の手に編みたるごとく朝顔の蔓はのぼり立てたる杖に」なら情景は判るのだが。

福津市 在自 佐々木 和彦

大いなる緋鯉泳げば花園の池に咲きたる睡蓮揺るる
〔評〕 「花園の」の場所設定は不要のようだが、佐藤佐太郎のおもむろにからだ現はれて水に浮く鯉は若葉の輝きを浴むの譜系の叙景歌。

宗像市 朝野 藤井 浩子

橋桁の浅瀬に青鷺白鷺がにらみ合ひをり田植えさ中に
〔評〕 鷺に焦点をしばり、「橋桁」下の浅瀬に青鷺と白鷺「にらみ合ひをり」としたい。

宗像市 日の里 大和 美由紀

群なして時に帰る白鷺を眺めて思ふ子供等のこと
〔評〕 白鷺の時には雛たちが待っているだろう、との連想からの一首であろう。

宗像市 大井 木原 ふさ子

石風呂も豆腐の白も並べ置く古物屋寛に山の水引く
〔評〕 古物屋は音が固いので古物商としたい。作者の目が働いていい作品である。

福津市 光陽台 香月 照子

紫陽花の雨にぬれてる風情が好きで空を見あげる空梅雨の日日
〔評〕 三句の8音の破調はまづい。「さまが好き」と定型で。

福津市 中央 中村 勇

家の前はしやぎ通る学童を朝毎見てる遠き孫思ひ
〔評〕 素直率直に詠われている孫恋うた。二句は「はしやぎて通る」と「て」を入れた方がいい。

宗像市 池田 森 龍子

今朝の風は向きを変へて二階より見下ろす木々の葉裏が光る
〔評〕 初句の「風は」は「は」は昔き今朝の風と定型すれば風にも動きが出てくる。

宗像市 日の里 佐藤 純一

Croissant三日月形のフランスパンジャムをもちいてカフェオレで飲む
〔評〕 初句はどうゆうことか、注釈が欲しい。またフランスパンとカフェオレとの関係も判らない。作者の意欲は感じられるのだが。

三日月形のフランスパンを食べてをりジャムを用いしカフェオレ飲んでみるなら判るが。

選者詠

をりをりに日本魚類図鑑ひらき見る不思議とこころしづまるゆゑに
若返り叶はぬよはひ然もあらばあれ鱭の刺身と冷酒のあり
聞きもらす人語鳥語のいくつある三半規管の麻痺の左耳は



宗像大社歌会 俳句作品集(五〇三)

東郷 田中憲象

蒼天の薔薇に見立て、水を掛け

光岡 白土 凌一

新緑の山道行けば気持ちよき

日の里 花田 いつ枝

夏至の陽の余映山襷濃くしたる

光岡 井上 嘉治

牽牛も織女も渡る天の川

東郷 宗風社俳句会

昼寝の子笑顔に送る团扇風

吉田 杏子

気がつけば千潟は満ちて照る夏日

三浦 美千代

淋しさの中に身をおき盡团扇

田中 雨葉

老鷺や潮引ききつた島の森

木原 房子

蝮草太く株立つ山の径

編集後記

何年前か前神職になりたてで受ける研修「初任神職研修」で、「神職として出来なければならぬ事」という題で、パネルディスカッションが行われ各班ごとに発表しました▼そして講師の某神社の宮司さんがおっしゃってました。「まず自ら御奉仕する神社の御祭神を崇敬して下さい」。これはどの班からも出ませんでした▼「親の恩は子をもつて知る」と言いますが、小生今その心境真つ只中です。それに加えて「神恩は子をもつて知る」というのも身に沁みてます。ウチの神様はやつぱすごいです▼ちなみに、当大社の先輩神職の名言では「子供は自分の分身」「子供が出来て初めて人生が始まる」等々を賜りました。神社神道の基本理念は子孫繁栄です。「親をみれば子がわかる、子をみれば親がわかる」を考えると、気が重くなります (M・O)

発行所 宗像大社社務所 宗 像 会

〒811-3505 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311(代)
発行人 伊藤佳和
編集人 大塚宗延
制作 ジーエータップ
印刷 セネラルアサヒ

定価1年送料共1,000円